

# 駿河台大学 同窓会報

第6号

発行

駿河台大学同窓会事務局

〒357 8555  
埼玉県飯能市阿須698  
☎ 042 972 1101

ホームページ

<http://www.surugadai.ac.jp/dousou/index.html>

## 自信に満ちた若人がいざ飛躍の舞台へ 平成15年度卒業式報告

ご卒業を心よりお祝い申し上げます

二〇〇四年三月二十五日  
学校法人 駿河台大学

理事長 山崎春之  
理事 竹下守夫  
吉田邦久  
河上和雄  
森 茜  
山崎荘太  
白倉 孝  
梶木隆一  
山下 薫  
松本 香  
樋口一夫



平成15年度卒業式が平成16年3月25日(木)に本学体育館にて挙行された。

平成15年度の卒業生は法学部379名、経済学部392名、文化情報学部277名、現代文化学部143名の合計1191名であり、新たに同窓会メンバーとして加わることになった。

本年度の答辞を述べたのは、経済学部経営情報学科小林将彦さん。来賓には河合純一氏(バラリンピックの水泳金メダリストであり、全盲者で初の普通中学の社会科教師として教壇に立ち、現在は、母校早稲田大学の大学院にて教育学を学んでいる)をお迎えした。また、同窓会からは森沢副会長が代表者として出席した。

卒業式終了後は、教室において卒業生全員に卒業証書が手渡され、その後は、場所を飯能プリントホテルに移し、コメントメントパーティーが開催された。

コメントメントパーティーでは、恩師や友人との大学生活の思い出話しや再会を約束する様子が数多く見られ、盛況のうち閉じられた。



### 平成15年度 総代・答辞・各賞受賞者一覧

総代  
法学研究科

宮下 雅彦(都立井草高校)

経済学研究科

杉田 芳雄(私立慶應義塾志木高校)

文化情報学研究科

別府 雅彦(私立法政大学付属第一高校)

法学部法律学科

拓植 善人(都立八王子高陵高校)

経済学部経済学科

坂本 直樹(私立日本放送協会学園高校)

経済学部経営情報学科

KONAIYUN(アルゼンチン出身)

文化情報学部文化情報学科

小野 由美子(都立昭和高校)

文化情報学部知識情報学科

坪根 紗織(埼玉県立所沢北高校)

現代文化学部比較文化学科

亀井 佑美(埼玉県立所沢西高校)

答 辞

経済学部経営情報学科

小林 将彦(長野県立野沢北高校)

優秀賞

法学部法律学科  
伊藤 由里子(私立藤枝順心女子高校)

経済学部経済学科

LIUDAN(中国出身)

経済学部経営情報学科

北澤 瑞穂(埼玉県立狭山経済高校)

文化情報学部文化情報学科

CUICHUNYING(中国出身)

文化情報学部知識情報学科

中澤 歩(新潟県立長岡高校)

現代文化学部比較文化学科

宮下 まい子(群馬県前橋市立前橋高校)

菩提樹賞

法学部法律学科

伊藤 由美(埼玉県立南稜高校)  
今井 竜太(埼玉県立新座北高校)  
久住 直樹(埼玉県立浦和東高校)  
佐久間 純一(都立久留米高校)  
小山 智代子(埼玉県立入間高校)  
菅原 大樹(埼玉県立入間向陽高校)  
則 千尋(都立小平南高校)  
守木 麻貴(新潟県立国際情報高校)  
吉田 啓子(埼玉県立坂戸高校)  
山崎 笑子(都立慶芸高校)

経済学部経営情報学科  
大野 健一(埼玉県立富士見高校)  
梶原 隼(都立富士森高校)  
黒澤 将(埼玉県立秩父高校)  
高山 知弘(都立久留米高校)  
土橋 修羅(埼玉県立豊岡高校)  
渡邊 総子(私立東京女子学院高校)

経済学部経営情報学科  
小林 恵(埼玉県立桶川高校)  
手計 亜希(埼玉県立豊岡高校)  
堀沢 陽子(埼玉県立所沢西高校)  
本田 奈美(都立昭和高校)  
福田 正幸(埼玉県立戸田高校)  
文化情報学部文化情報学科  
佐藤 良美(埼玉県立坂戸西高校)  
高橋 花奈(宮城県立古川女子高校)  
町 綾乃(埼玉県立大宮西高校)

文化情報学部知識情報学科  
新井 春子(栃木県立今市高校)  
杉山 和美(長野県立松本嶺ヶ崎高校)  
鈴木 三穂(都立東大和南高校)  
現代文化学部比較文化学科  
石綿 佐友里(茨城県立境高校)  
竹内 嘉子(埼玉県立和光国際高校)  
峯岸 隼(私立東京家政大学付属女子高校)

特別賞

法学部法律学科

大作 香織(私立八王子高校)

黒澤 尚希(私立水戸葉陵高校)

中里 真希(埼玉県立飯能高校)

経済学部経営情報学科

伊藤 大輔(私立日本学園高校)

三富 香奈世(群馬県立利根商業高校)

文化情報学部文化情報学科

谷ヶ崎 直美(埼玉県立飯能高校)

NAKIHIO(韓国出身)

現代文化学部比較文化学科  
荒巻 紗綾華(私立前橋育英高校)



# 退任教授から メッツの セージ



## 自主ゼミナールの喜び

文化情報学部教授 青木 栄一



私は4つの大学に奉職し、本学を最後として39年にわたった大学教員の生活を終える。研究に精を出し、論文も書き、学生教育にも熱心に当たってきたつもりであるが、思い返すと後悔することもある。

もっとも思い出に残っていることは、「自主ゼミナール」である。私は交通地理学が専門で、1977年のある日、学生がやってきて、「交通の勉強をしたい学生が何人かあり、週1回くらい夕方に自主ゼミを持ちたいのです。先生にも出席していただいて指導をお願いしたい」という申し入れであった。「ああ、いいですよ」と気軽に引受けて、ゼミが始まった。これが20年以上も続くとは思わなかった。1冊の研究書、あるいは共通のテーマで雑誌論文を読むという形式が多かったが、卒業論文の中間発表で参加者の批判を仰ぐことも適宜行った。

そのうちに、他大学の学生も噂を聞いて出席するようになり、地理学だけでなく、経済学や社会学、歴史学の学生・院生も来て学際的となった。参加者は延数十人を超えた。読み終わった研究書の著者呼んで質問会をしたり、夏か春休みには見学旅行もした。前任校を定年退職した後もゼミは続き、本学の学生も何人か参加した。

自ら学ぶ意欲をもつ学生が多いことをうれしく思うとともに、教師冥利につきることもあった。大学は辞めても、ゼミはまだ続きそうである。

## トレーニングセンターと女子ホッケー部 文化情報学部教授 大木 昭一郎



本学を去るに当たり、スポーツに関する思いを2つ述べます。

1つは、2002年4月に設置されたトレーニングセンターのことです。この

センターは、日本の大学では最上位にランクされる充実した施設です。体育の授業や運動部活動に利用されるほか、最近では、特に、一般学生や教職員の皆さんが継続的に利用していただけるようになりました。多くの皆さんがこのセンターを日常的に活用し、健康の増進と体力づくりに励まれ、活力のある日常生活を送られるよう願ってやみません。

2つめは、女子ホッケー部のことです。特色ある大学づくりの一環として、本学のスポーツを一層振興することとなり、私は、女子ホッケー部の創設を担当しました。ホッケーは初めての経験でしたが、1999年度に4人の部員でスタートし、5年目の今年は、部員も18人となり、関東学生女子ホッケー1部リーグで準優勝を収めるまでに成長しました。

このような成果を収められたのは、部員が一丸となつての精進努力、監督・コーチの適切な指導、山崎総長、竹下学長、沢辺飯能市長をはじめ多数の皆さんのご声援によるものであります。ご協力いただいた皆さんに衷心より感謝申し上げます。そして、皆さんのご支援を得て近い将来、女子ホッケー部が大学日本一になることを祈念しています。

## チャレンジする精神を失わずに 文化情報学部教授 大橋 泰二



日本ではじめての名称の文化情報学部が10年前に駿河台大学に設立され、3年目から繰返って本学部に参加させていたいただいて早8年になる。

思い起こすと、その3、4年前だか前任校に在職中にお誘いを受け、文化情報学部が何たるかもよくわからずに着任した者だった。

担当科目は観光情報学を中心とした観光情報コースの専門科目であった。観光学がそうであるように文化情報学も、既存の学問分野別ディシプリン(個別科学)に属さない学際的学問分野である。

この学部教育の内容は、やがて当時の学部長であった安澤先生や原田先生からお話を伺うほどにこれは大変な学部に入ってしまったかと思つたものだった。しかし幸いなことに、多くの先輩、同僚の先生方が

らのご指導や励ましに支えられて、自分なりにこの新しい学問分野が少しはわかるにつれ新たな挑戦への意欲が強くなっていった。そして何よりも心強かつたのはゼミナールを中心とした研究活動の中で、学生と一緒に頑張ってさまざまな調査研究に取り組んだことで一体感を味わえたことだ。学生とともに過ごしたこの大学の生活は、私にとってもかけがえない大切な時間であったと実感している。

## 巣立ちゆく者に 現代文化学部教授 鈴木 伸一



一教師の退職などにはおかない、今年も卒業式が巡ってきた。この日を卒業生諸君はいつたいどんな気持ちで迎えているのだろうか。自分自身のことには半世紀も昔のことと記憶に定かでない。親しく接した学生たちから憶測するに、大方の諸君にとつて卒業式の日は入学式の日以来に楽しく、また期待をともなつたものよである。ということとは、新たに始まるという大学の4年間の生活より、そこから出ていく世の中での営みの方が魅力あるものだということなのである。教師としても、それはそれで仲々結構なことだと思つた。

一方私自身はこの案しかるべき日にどうなのかと言へば、むしろ彼らとは対照的に、あまりさえない気持ちになるのがいつものことである。というのも、世の中での活動を断念して、いわば巣立ちを体験することのなかつた者として、巣立つて行く者に一種羨望めいたものを感じ、取り残されたような気持ちになるからである。

しかし、なにも若い人たちに水をさすわけではないが、世の中そうよいことばかりでもありません。国際交流の時代、あるいは異文化交流の時代、等々、いかように言おうとも、この世の中がゆえなくして慮げられた人々を生みだして続けていることには変わりはない。巣立ち行く諸君がそうした弱者への目をつねに持ち続け

## 卒業生は今

平成6年経済学部卒

藤村 健二



早いもので、大学を卒業して10年を迎えようとしております。今振り返りますと、とても楽しかった4年間で、社会人になる前に進学をして良かったと思ひます。

一番良かった事は、かけがえの無い貴重な恩師、友人が出来た事です。ゼミでは、鎗田先生にお世話になりました。経済学部の一期生ということもあり、熱心にご指導頂きました。その他クラス、サークル活動を通じて沢山友人ができました。今でも、休みを調整して温泉旅行や、ゴルフ、忘年会など10年経ってもお付き合いをさせていただいております。また、時が経っても当時に戻れるような感じになれるのが、学生時代の友人の良いところかもしれません。当時の思い出をたしなみしては、サークル代表で、駿輝祭におかまコンテストに出場させて頂いた事が印象に残っています。ところで、「卒業生は今」ということで、近況報告いたします。現在、新宿にあります「ホテル海洋」というホテルに勤務しております。

いくつか部署がございます。婚礼営業課という部署に所属しております。主に結婚式の打合せなどをこなしております。大学同級生でも数名ご利用がございまして、また、楽しい思い出が増えました。

その他、結婚式以外でも宿泊、会議、パーティーなども承っております。昨年5月10日には駿河台大学同窓会も承りまして、多くの先生方、卒業生、現役学生のご出席を頂きました。会のほうもなごやかで楽しいひと時を過ごさせて頂きました。今年も5月8日に開催させて頂きますので、楽しみにしております。

### 同窓会奨学金

#### 採用者決定

同窓会奨学金は、スポーツ系の課外活動において顕著な成績(前年度の競技成績)を収めた学生に対し、20万円を給付する制度です。今年度は8名が選出されました。

#### 加藤哲平

(カヌー部 法学部法律学科3年)  
第57回国民体育大会夏季大会カヌー競技K・1  
25ゲート第3位

#### 小村健志

(カヌー部 経済学部経営情報学科3年)  
平成14年度全国学生カヌー大会第3位

#### 野々宮賢治

(カヌー部 現代文化学部比較文化学科2年)  
平成14年度日本カヌースラローム選手権  
C・1 優勝

#### 黒澤尚希

(剣道部 法学部法律学科4年)  
第50回全日本学生剣道選手権大会 準優勝

#### 中里真希

(女子ホッケー部 法学部法律学科4年)  
秋季関東学生ホッケーリーグ  
ベストイレブン、敢闘賞

#### 谷ヶ崎直美

(女子ホッケー部 文化情報学部文化情報学科4年)  
春季関東学生ホッケーリーグ  
ベストイレブン、敢闘賞

#### 我妻順子

(女子ホッケー部 文化情報学部文化情報学科2年)  
平成15年度21歳以下日本代表

#### 太田 亘

(アルペンスキー部 文化情報学部文化情報学科1年)  
第10回全日本ジュニアスキー  
チャンピオンシップ 第10位

### 採用者の声

#### 女子ホッケー部所属

#### 文化情報学部文化情報学科

2年 我妻 順子



この度、同窓会奨学金を授与できる事となり、大変嬉しく思います。学内の厳しい選考を経て8名の中の1人に選ばれたことはとても名譽なことであり、今後も大学、先輩方の期待に応えられるように活動していきたいと思っております。

私は女子ホッケー部に所属しています。ホッケーと聞くと、アイスホッケーを思い浮かべる人がほとんどだと思いますが、私が行っているのは正式にはフィールドホッケーと言います。サッカーとアイスホッケーを混ぜたスポーツと言えはわかりやすいかもしれませんが、アイスホッケーがステイック両面を使用できることに対して、ホッケーでは片面の平坦な部分しか使用できないという独特の特性があります。また、ホッケーにはシューティングサークルというものがあって、サッカーなどどこからでもシュートが可能ですが、ホッケーの場合はそのサークル内からのシュートでなければ得点にならないことも大きな特徴です。競技時間は約70分で、ボールの展開が速く、スティックによるスピーディーな技術がものをいうスポーツです。

昨年度、女子ホッケー部は、関東学生ホッケーリーグ女子1部において4シーズン連続準優勝を果たしました。昨春に東京で行われた全日本学生ホッケー王座決定戦ではベスト4、また、個人では全日本学生ホッケー東西対抗戦に選出され、よりハイレベルな試合を経験することができました。秋には全日本学生ホッケー選手権大会に出場し、ベスト8進出という成績を残しました。その他、個人的には女子日本代表ジュニアチーム(21歳以下)に選出され、日韓交流試合を経験することができました。そこでは、韓国のプレーに圧倒された部分もありましたが、今までやってきた自

分のプレーに自信を持っていけると感じた部分もありました。そこで得たものはとても大きく、今後の駿河台大学のチームで活かしていきたいと思えました。

今年度は、副将という責任のある仕事を任せられ、日本一という目標のもと、自分に厳しく日々練習に励んでいきたいと思っております。

#### カヌー部所属

#### 法学部法律学科

3年 加藤 哲平



この度は、同窓会奨学金として認定していただき誠にありがとうございました。このように名譽ある賞を頂き、誇りに思うと同時に、責任感を強く感じています。

私の所属しているカヌー部は、自主自立、楽しいカヌーをモットーに自分に厳しく、日々のトレーニングを重ねてきました。その結果、今年度は世界選手権に出場する者も現れてきました。私自身も、第26回NHK杯全日本選抜カヌースラローム競技大会で2位になりテレビ放送されたり、チェコに海外合宿に行ったりとても充実した1年となりました。しかし、私たちはこの結果に満足することはありません。今年はアテネオリンピックの年でもあります。私達カヌー部にはこのスポーツ最大のイベントに参加できる可能性が高い選手が何人かいます。今はオリンピックに向けてために、3月に行われる日本代表選考会に向けて切磋琢磨しています。そしてスポーツを通して体を鍛えると共に人間的にも成長していきたいと思っております。

今回頂く奨学金は、今後の海外遠征や道具の購入などに、有効に使わせていただきます。これから応援して下さる皆さんの期待に応えられるように、私達は日本に留まることなく、世界に目を向け、世界各国の強豪と競い合えるように、これからも日々々の努力を怠ることなく精進していく所存です。

## 駿河台 スポーツニュース

### 剣道部

#### 関東女子学生剣道新人戦大会 女子団体 準優勝



筑波大学は、この新人戦で3連覇しており、本年度の全国大会で優勝もしている強豪である。結果は1対4と敗れたが、貴重な1勝を奪取し、堂々の準優勝となった。全試合に活躍した牛之濱さんは優秀選手賞を受賞した。

本年度の関東女子学生剣道新人戦大会には71大学が参加した。本学は初戦の津田塾大学、2回戦の立教大学に快勝し、3回戦の相手は今年の全日本女子学生剣道優勝大会(全国大会)で3位となった大正大学。接戦の試合は大将戦までで決せず、代表者戦にもつれ込んだ。最後は本学代表、牛之濱香さん(法学部1年私立東京成徳大学高校出身)が小手を取り、準決勝に駒を進めた。その勢いに乗り、続く茨城大学、準決勝の国学院大学には先鋒から中堅までの3人で試合を決める強さを見せ、決勝戦進出を果たした。決勝戦の相手となった

#### 女子ホッケー部

秋季関東学生ホッケーリーグ1部(6チーム) 2位

第25回女子全日本学生選手権大会 ベスト8

#### カヌー部

第58回国民体育大会

スラローム・カヤックシングル(15ゲート)

荒巻雄一郎(文化情報学部2年) 8位

スラローム・カヤックシングル(25ゲート)

加藤哲平(法学部4年) 6位

#### 野球部

東京新大学 2部(6チーム) 2位

# 平成16年度同窓会総会開催

## ホテル海洋にて

平成16年度の同窓会総会を平成16年5月8日(土)に新宿区百人町にありすホテル海洋(JR新大久保駅徒歩5分)にて開催いたします。

昨年度も同開催場所で行いましたが、参加者から好評の声をいただきましたので、今回も都内新宿区にて開催いたします。(今年度も駿輝祭時にはホームカミングデーとして会員の皆様をご招待し、懇親会を行う予定です。ご参加ください。)

総会では、平成15年度の決算報告、平成16年度予算及び事業計画等を審議します。更に今年度は、同窓会名簿を作成する予定です。昨年度以上の皆様のご出席をお待ちしております。

開催日：平成16年5月8日(土)

場所：ホテル海洋

3F ローズ(総会)

3F オークッド(懇親会)

東京都新宿区百人町2-27-7

TEL 03-33368-1121

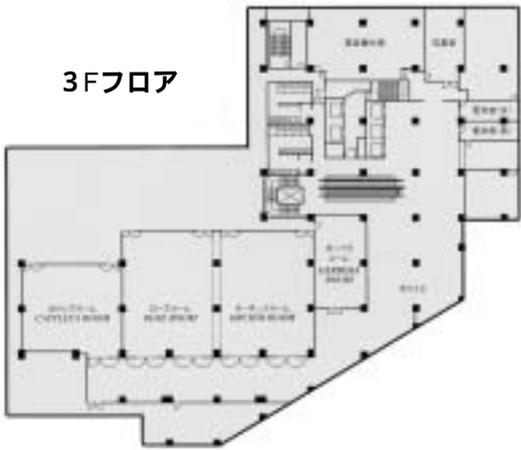
時間：総会 15時

懇親会 16時

会費：1人3000円

(総会のみ出席の方は無料です)

3Fフロア



〒169 8507 東京都新宿区百人町2丁目27番7号 TEL 03 3368 1121 FAX 03 3368 6551

J R中央・総武線大久保駅より北口下車徒歩1分

J R山手線新大久保駅より徒歩5分

都営大江戸線新宿西口駅D5より徒歩10分

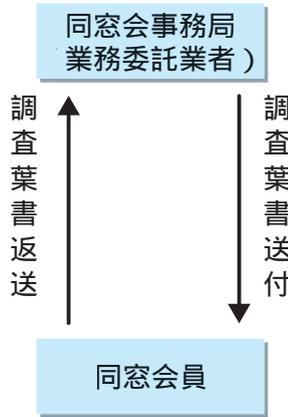


## 同窓会名簿作成のお知らせ

### お知らせ

ホームページ等でお知らせしてきましたが、同窓会では、平成16年度中に同窓会名簿を作成する予定です。同窓会名簿は、同窓会活動活性化のための情報的基盤として重要なものです。また、これにより現役学生に対するサポート(就職活動等)も促進されるものと期待されます。

名簿作成にあたっては、次のように皆様に現住所・勤務先等の確認及び調査をさせていただきますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。



- 1・確認・調査項目  
現住所・自宅電話番号・メールアドレス・勤務先・勤務先住所など
- 2・確認・調査方法  
調査用往復はがきと同窓会事務局が把握している皆様の現住所・自宅電話番号を記載しますので、確認・訂正後、事務局(もしくは業務委託業者)へご返送いただきます。また、勤務先等事務局で把握していない項目については、同じ往復はがきにご記入いただきます。
- 3・名簿不掲載希望の申し出  
名簿への掲載を希望しない方は、調査用往復はがきにてその旨を申し出ることができます。

- 名簿の形態や配布・販売方法につきましては、現在役員会で検討中ですが、決まり次第、ホームページや同窓会報にてご連絡していく予定です。
- 個人情報管理について
- 1・個人情報の管理主体は同窓会とする。
  - 2・名簿作成時の会員住所調査等は外部業者委託とし、調査は郵送及び電話にて行う。
  - 3・同窓会が管理する個人情報は同窓会事務局経由で駿河台大学学生課及び就職課が共有できるものとする(大学側が同窓会が管理する個人情報を使用する場合には、事前に同窓会事務局に連絡し、同窓会役員会に使用承認を得ることとする。)
  - 4・掲載にあたっては、掲載希望者のみを掲載する。
  - 5・名簿への掲載を希望しない会員データ管理も同窓会で行い、会報配布・総会案内等、必要な連絡は行う。
- 名簿の形態について
- 1・A4版とする。
  - 2・作成初年度は、全会員を掲載した統合版を発行する。統合版は15〜20年で更新する。次年度からは、新規会員に当該卒業年度の学部別名簿を無償配布する。
  - 3・統合版は有償販売とする。価格は5千円程度を目途とするが、購入希望者の増減により1万円以内までの価格に設定する場合がある。
  - 4・名簿媒体は紙とする。
  - 5・掲載項目は、氏名・住所・自宅電話番号(個人携帯電話番号)・勤務先名・勤務先住所・メールアドレスとする。
  - 6・広告を掲載し、広告料(A4版の1/4で1万円以上2万円未満程度)を徴収する。但し、会員が広告を掲載する場合は、名簿を無償で1部進呈する。
- なお、以上の基本方針は、寄せられたご意見、ご要望を役員会にて検討し、変更することがあります。

(事務局)

## 駿河台大学同窓会名簿基本方針